# Best Available Copy

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-151906

(43) Date of publication of application: 14.06.1989

(51)Int.CI.

B01D 13/01

(21)Application number : **62-308580** 

(71)Applicant : UBE IND LTD

(22) Date of filing:

08.12.1987

(72)Inventor: KIUCHI MASAYUKI

AKAGI KAZUO

## (54) PRODUCTION OF HOLLOW YARN MEMBRANE MODULE CARTRIDGE

### (57) Abstract:

PURPOSE: To obtain a membrane module in which the aperture ends of hollow yarn are formed in a cutting plane by containing a collected hollow yarn bundle into the hollow part of a tubular structural body and fixing it with a potting material and thereafter cutting it.

CONSTITUTION: A collected hollow yarn bundle is contained into the hollow part of a tubular structural body and the hollow yarn is liquidtightly fixed to the inner face of the tubular structural body by a potting material. Then at least one end face of the potting material part is cut to form the aperture end of hollow yarn in the cutting plane. The tubular structural body incorporated at least one or more kinds of material selected from among an adsorbent, an absorbent, a reactive medicinal agent and a filter medium. Further, as the tubular structural body, when a columnar body having the hollow part capable of containing the porous hollow yarn bundle in the central part is used, any shape may by used. As the potting material used in the potting material part, polyurethane or epoxy is preferably used.

#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

#### ⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

## 母 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-151906

®Int,Cl,⁴

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)6月14日

B 01 D 13/01

6953-4D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5页)

9発明の名称 ・

中空糸膜モジュールカートリツジの製造方法

②特 層 昭62-308580

❷出 関 昭62(1987)12月8日

②発 明 者 木 内

政 行

識別記号

千葉県市原市五井南温学8番の1 宇部興麿株式会社千葉

研究所内

70発明者 赤木 一生

千葉県市原市五井南海岸8番の1 字部興産株式会社千葉

研究所内

愈出 頤 人 字部與庭株式会社

山口県宇部市西本町1丁目12番32号

#### 奶椰香

#### 1. 発明の名称

中室条膜モジュールカートリッジの製造方法

#### 2. 特許請求の範囲

吸着材、吸収材、反応性期内、建選材のうち少なくとも1以上の材料を含む保淀材から構成されている管状構造体の、週端細がシール材により対止されており、中空低内に、閉口端の少なくとも一端が開口状態に柔たれたまな、ポッチィング材により独宅に固定された必孔費中空舟京が収納された中空条政モジュールオートリッジを製造する方法に終いて、

集束した中室系京を皆状構造体の中空館内に収 納し、ボッティング対により中空系度を流密に替 状構造体内面に固定した後、ボッティング対部の 少なくとも一端面を切断し、切断面に中空永の間 口端を形成することを特徴とする中空系線モジュ ールカートリッグの製造方法。

3. 気明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本意明は、液体収いは気体を浄化、吸収、分牒 など各種処理するための、交換及び保存が容易な 中空系段モジュールカートリッジの製造方法に関 する。

#### (従来の技術及びその問題点)

投資の中空無限の開発には寄しいものがあり、その利用も化学工器、食品工業、製菓工業、四路工業、化粧品製造業、学導体製造業、メディカル分野、原子力発電、海水袋水化、排水処理から、関には一般宏度の浄水器に至るまで各種の性能のものが多くの分野で利用されている。

中空系数は、一致に中空点を束状としたり、 U 学状に悪鬼してモジュール化される。そのため、 平関に比べ鉄面積を大きくとることが可能であり、 又、モジュール或いは装置を小型化することがで きるという特徴を有する。

供来、例えば、中空系数の束を集束固定した中空系数モジュールの整理は、先ず、所定の長さに切断し無束した中空系数を、モジュールのハウジング内に配数し、次いで、これを仮固定し、ボッ

ティング村の端面を切断するという工程を移て似意するのが一般的である。この機な方法で競技されたモジュールでは、全成問題或いは金属などからなるハウジングは被処理物の彼れを規制する役割及びハウジング本なの構造物としての役割しか誇っていない。又、この機にして得られたモジュールは、一般に、特定の技体に特定の処理を施す目的にのみ有効である。

能って、マジュールに複数の機能、別えば、吸 着、吸収、凝動反応、濾過(前線過、後濾過)な どの機能を超み合わせた機能を持たせるため、吸 溶材、吸収材、反応性薬剤、濾過材などの針科か う構象された管状構造体の中空部内に、多孔質中 空系形が収納された中空系数モジュールカートリッジが提案されたいるが、この場合、可配のを表 方法によって製造された中空系数でジュールを、 智状構造体の中空部内に収納したのでは、ペクジ ングが無用のものとなるばかりでなく、液体の流 れが創設されるため、処理効率も低く変用的でな

は選封のうち少なくとも1以上の材料を含む協造 材により構成される。機識材は、上記各種材料の 他、吸着は過村、イナン交換体、乾燥剤、発集剤、 中和剤、競化剤などを含んでいてもよい。

博造材の世代は特に原定されず、粉束状、粒状、 果粒状、フレーク状、繊維状、短状、海状、フィ ブリル状、コイル状、ネット状などであればよい。

(問題点を解決するための手取)

本発明は、種々の材料からなる管状体遺体の中 空部内に、多孔質中空未来を配設した、液体或い は気体の各種処理に用いられる中型点限モジュー ルカートリッジの製造方法に関する。

即ち、本発明は、吸清材、吸収材、反応性頂利、 遠道材のうち少なくとも1以上の材料を含む構造 材から構成されている管状体造体の、 胃時間がシ ール材により封止されており、中空部内に、関口 湖の少なくとも一端が関ロ状態に原たれたまま、 ポッティング材により流密に固定された多孔食中 空糸束が収納された中室糸膜モジュールカートリ ッジを設造する方法に於いて、

集束した中空条果を管状構造体の中空部内に収 物し、ボッティング材により中空系度を減密に管 状構造体内面に固定した微、ボッティング材部の 少なくとも一端面を切断し、切断面に中空系の関 口端を形成することを特徴とする中空系膜モジュ ールカートリッジの製造方法に関する。

管铁槽造体は、吸着材、吸収材、反応性溶剂、

ボホート、エチレンープロピレン共盛合件、ポリ ブタジェン、ポリイソプレンなどの高分子材料か らなる吸着材、アスペスト、クリソタイル、カネ リナイト、長石切、碓二土、敵化チタン、逐次な どの天然効からなる吸着材等が挙げられる。

吸収材としては、塩化カルシウム、炭酸カルシ ウム、シリカなどが挙げられる。

反応性期別としては、傷イオン交換機能、陰イオン交換樹脂、陰イオン交換樹脂などのイオン交換体、ポリ塩化アルミニウム、炭酸水源ナトリウム、チオ敏酸ナトリウム、腐化銀、臭化銀、埃化級などの銀イオンを発生する銀塩を含んだ殺菌剤などが挙げられる。

は通材としては、繊想を密に滑回してなる速速 材、不穏布、離低、多孔質平膜などから構成され る減退材などが挙げられる。

本発列の管状構造体は、中心部に多孔質中空糸 東を収納できる中空部を有する柱状体であればよ く、新聞は円形、潜円形、三角形、四角形、多角 形など何れの形状であってもよい。 义、管状構造 体は、全体が同一の材料で構成されていてもよい

#### 特別平1-151906(3)

し、中空糸駅モジュールカートリッジに多級銀を 付与するため、複数の材料を各方向に程度した構 液であってもよい。

管状協定体は、構造材のみによって構成されていても勿論よいが、形状の自己保持性が低い材料を構造材として使用する場合或いは用途によって中室表限モジュールカートリッジに強度が必要とされる場合は、管状構造体の内質が、外質面或いは内外質周囲を、不確布、類目状金属、多孔質又は明目状セラミックなどの材料で保護、支持した影響であってもよい。

管状構造体の環端面は、シール材によって液密 及び気密に対止される。

協師の対止は、替状構造体の中窓部内に収納した中型永東の戦部を、ポッティング材を充敗したポッティング型中に浸漬し、中空永東をポッティング材により流密に普状構造体の内面に固定するポッティング或形時に、同時に替状環境体の流頭を同じポッティング材で一体に対止してもよいし、ポッティング型の材質によっては、型そのものの

一部が智式特逸体の遠距の対止材として撥能する 構造とすることにより対止するものであってもよ い。 更に、エポキシ系、カレタン系、シリコン系 などの接着剤を直接塗布することによって実施し でもよいし、ゴム、樹脂、金鷹などからなる皮形 品を上配した複名剤で後着してもよい。 封止に使 用する材料と構造剤とが融着可能であれば、配着 によって對止してもよい。

相称、ポリアミド系磁器、モルロース系数語など からなる非多孔質中空糸酸なども使用することが できる。

ポッティング材部に用いられるポッティング材としては、特に限定はされないが、ポリウレタン 采収いはエポヤシ系の樹脂を使用することが好ま

以下に実施例によって本発明を許しく説明する。 実施例1

#### 第餘殊2

実施例 | と同様の中空糸束を、外国部をポリプロピレン製不積布で置った管状の倍性及成型勢の

#### 特朗平1-151906(4)

(発明の効果)

本発明の中窓糸頭モジュールカートリッジの製造方法は、管状構造体からなる建造体に中窓糸束からなる建造体を、ポッティング材により取扱流法に固定するものであり、無用な工程を育さず、 面別な操作で、中型糸頭モジュールカートリッジ を製造できるものである。又、得られた中型糸頭 モジュールカートリッジは、無用なハウジングを 有さないため、健体の流れが制限されることもな く、低めて高い処理能力を有する。

特許出願人 孑鄙與醒珠式会社

手統排正書 (自動)

昭和63年 6月10日

特許庁及官政

1. 事件の安米

函和62年特許顕第308580号

- 2. 発明の名称
  - 中空角膜モジュールカートリッジの製造方法
- 3、 遠正をする者

事件との関係 特幹出願人

郵便發导 755

山口県宇部市西本町1丁目12卷32号

(020) 字節與監律式会社

代表者 清水保失

4 接正の対象

明細書の特許請求の観謝の個及び発明の詳細な 説明の簡

5. 掲正の内容

特許請求の韓囲を別挺のとおり補正する。

(1) 明細書の下記箇所の「多孔質」の記載を削除す

8

(報告)

第3貝、第13行、第4頁、第3行及び第11 行、第6貝、第16行、第8頁、第9行(2箇 別)、第9頁、第10行(2個所)

以上

### 特別平1~151906(6)

昭和62年特許顯第308580号の特許請求

「吸着材、吸収材、反応性楽剤、破透材のうち少なくとも1以上の材料を含む構造材から構成されている管状構造体の、薄端面がシール材により対止されており、中空部内に、関口端の少なくとも一端が関ロ状態に保たれたまま、ボッティング材により低密に固定された中空糸球が収納された中空糸球でジュールカートリッジを製造する方法にはいて

以上

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
□ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.